

No. 8 令和元年(2019)5月17日(金) 越谷市教育委員会生涯学習課

西方の田植え風景(昭和30年頃)

新しい元号になりました。日本の歴史上の出来事の名称には元号が度々用いられています。「大化の改新」、「承久の乱」、「元禄文化」などです。他方、干支を用いて表す場合もあります。「壬申の乱」や「戊辰戦争」などです。い

ずれにしても、今ではわが国独特の表現方法です。将来「令和の ○○」と言われる出来事があるかもしれませんが、明るく希望の ある出来事であるように願っています。

田植えまでの田んぼ

「早乙女が裳裾ぬらして 玉苗植うる 夏は来ぬ」(佐佐木信綱作「夏は来ぬ」)と歌われた頃の田植えに使われた農具が、大間野町

や旧東方村(レイクタウン)の中村家住宅に展示してあります。連休の間に市域の田植えも進みました。今では 改良を重ねられた農機具によって、田植えや水田耕作の風景も変わりました。ここではトラクターやコンバイン が使われる前の、田植えまでの作業過程と使われた農具についてお話ししましょう。(用具の名称や使い方は地域 によっても異なる場合があります。)







水を入れたばかりの田。 醛はまだ 冬のままです。

1. 田うない(田起こし)

(1) 一番うない

冬を越して硬くなった田の土を 砕いて柔らかくする作業を数回行 います。一番うないには「備中ぐわ」 を用いました。牛馬に大型の犂を引 かせる場合もありました。一度起こ した後で風呂ぐわを使って細かく しました。

(2) 二、三番うない

さらに牛馬にひかせる大型の犂 (オンガやオオグワ)を使って深く 掘り起こします。ここまでの作業は 稲の結実の基礎になるもので、収量 にも大きく影響するそうです。

この頃には用水路に水が通され、田に水を引く準備も進めます。

2. 灌 漑

(1) 水入れ

踏み車(水車)(右の写真)などを使って用水路から水を田に入れます。 用水路は村の共同管理で維持され、 時には他の村との争いに発展する こともありました。





柄鍬: これは人が使うものです。鉄 は貴重だったので、風呂ぐわ同様に 刃先だけに鉄を用いています。





_{あぜ} (2) **畦塗り**

田の一枚一枚は畦で仕切られています。畦は田の境というだけでなく、水の管理に重要な役割を果たしています。田の水が漏れないように、畦の表面には泥土を塗って保護します。



留代 (大相模): 田の準備の間には 苗を育てます。(昭和30年頃)



田植えを待つばかりの田んぼ。

3. 代掻き

田の土をさらに細かくして水と 馴染ませると共に、土の表面を平ら にする作業です。この場合にはマン ガ (馬鍬) やならし棒 (板) などが 使われました。

これまでの作業の間に、田の水は 次第に温められていき、こうした作 業の末に苗代で育てられた苗が植 えられます。

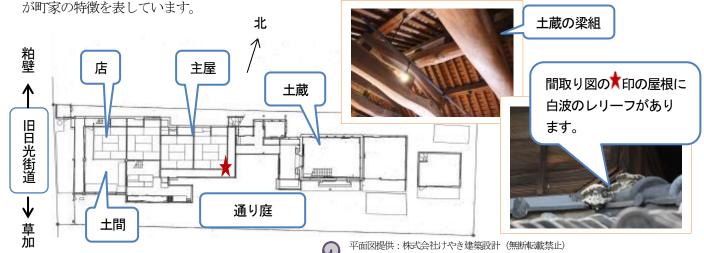


マンガ(馬鍬):牛馬にひかせました。

町家の造りがわかります

旧大野家住宅(はかり屋)【国登録有形文化財(建造物)】

「古民家だより」(No.3 及び 7) に続き、旧日光街道沿いの旧大野家住宅(はかり屋) のご紹介です。間取り



町家は間口よりも奥行きの方がずっと長いのが特徴です。通り庭は家によっては主屋の屋根がかかり、建物と一体となって細長い土間として敷地の奥まで続いているものもあります。この通り庭は、日光街道の東側の町家には通りから見て右側に、西側の町家には左側に設えてあるのが多く、越ヶ谷宿の都市計画を思わせます。

防災フェス 2019

三企画展 浅間山噴火と越谷

「難儀の内へ加わり候」

《日時》5月25日(土)、26日(日)9:00~16:30 《会場》旧東方村中村家住宅(レイクタウン9-51)

天明3年(1783)夏、浅間山の大噴火によって埋まってしまった村がありました。この村の生存率は16%あまり。その人々による村再建、そして越ヶ谷の状況から、現代の私たちに問いかけてくるものを考えます。

どうぞご来館ください。(当日は入館無料です。)